

1 Day College 開講講座一覧表

雲雀丘学園高等学校

平成22年7月10日（土）

講義名	講師	講義内容
1 やる気の出ない人のための勉強法	甲南女子大学人間科学部 総合子ども学科准教授 西尾 新 先生	“テスト前になると部屋の掃除をしちゃう”、“テスト勉強しても「全然勉強してへん」と言ってしまう”、“テスト後はとりあえず「あかん、できなかった」と言っておく”、“「お前はアホや」と言われるし、自分でも「アホやからできへん」と言ってしまう”。こんな人いませんか。勉強せなあかんのはわかってるけど、なぜかやる気の出ないあなた。もしかしたら、ここにヒントがあるかも。
2 社会を「動かす」人になる：大臣・組合・経営者 一貿易と海外生産のロール・プレイング・ゲーム	法政大学キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科准教授 筒井 美紀 先生	S国のSP社が大量解雇をする。誰が失業者を守るのか？政府？労働組合？他方でO国のOQ社は、失業者の低賃金労働を期待し、S国への工場移転を狙う。OQ社従業員の運命は？授業では、参加者が各国の諸大臣・労働組合幹部・経営陣を演じる。交渉によって社会を「動かす」醍醐味を味わう。
3 教育学	京都女子大学発達教育学部 教育学科教育専攻教授 上田 学 先生	・日本とイギリスの学校の比較検討 ・現代の教育改革 ・新しいタイプの学校とその運営 ・現代の教員に要請されるもの ・日本の教育の発展と将来
4 化学でDNAのヒミツを探る	甲南大学フロンティアサイエンス学部 生命化学科教授 杉本 直己 先生	21世紀になり、ナノサイズで核酸やタンパク質を取り扱える学問、生命科学が注目されている。本講義では、核酸（DNAおよびRNA）の構造、物性、機能の基本的特徴を学習する。さらに、この生命科学の研究最前線の問題をわかりやすく紹介し、核酸のヒミツ（新しい物性や機能）に迫る。また、その成果に基づいて我々の未来生活がどのように改善されているのかを展望する。
5 体験しよう！ 体のサイン	兵庫県立大学看護学部 助教 菅野 由美子 先生	「看護の仕事とは何か?」「看護ってどんな事をするの?」皆さんに看護の仕事について「体のサインを知る」という体験を通して知っていただきたいと思っています。また、看護分野への進学と進路の違いについてお伝えしたいと思います。
6 生体成分検査で知る身体の異常	神戸薬科大学薬学部 学科准教授 小林 吉晴 先生	血液や尿中の種々の物質の濃度を調べると生体が正常に機能しているかどうか分かります。授業ではどのような病気の際に、どのような生体成分が、なぜ変動するのかをわかりやすく解説します。
7 「YUI」が蘇らせる伝統的青年像 ー音楽社会心理学への誘いー	同志社女子大学生生活科学部 人間生活学科教授 諸井 克英 先生	青年達によって表出されるさまざまな「歌」は、その時代を生き抜く青年達の心性を内在化させています。この授業では、「YUI」を素材にして、彼女が構成する「内面的世界」を社会心理学の観点から「解剖」することを試みます。このことによって、「こころ」の仕組みの一端を理解してもらえればと思います。
8 キャラクター・デザイン演習	宝塚大学造形芸術学部 メディア・デザイン学科助教 松野 一樹 先生	自分をキャラクター化する。始めに自己分析を行い、その結果をキャラクターの設定とする。設定をもとにビジュアル化していきます。
9 円周率から始まる数学の世界	大阪市立大学理学部 数学科教授 高橋 太 先生	皆さんは『円周率 π 』の定義を知っていますね。えっ?「3.14じゃないのか?」って? 円周率 π は円の「円周の長さ÷直径の長さ」として定義される数学定数で、小学校時代から皆さんもよく知っているものです。この講義では、そのように身近な円周率 π が、解析学や幾何学など現代数学の諸分野で大活躍する様子を見て行きます。日ごろ見慣れた π の姿とは一見変わった、なんとも不思議な、謎に満ちた一面も垣間見ることができれば、と思っています。
10 地球はどんな星か? ー比較惑星学から考える地球ー	和歌山大学観光学部 地域再生学科准教授 中串 孝志 先生	講師（中串）の専門は惑星気象学である。なぜ「観光学部」に惑星気象学者がいるのか?地球という観光資源を考える上で、地球そのものに対する理解は不可欠である。そこで、地球を知るため、いったん地球を離れ、多様な惑星の姿を概観しよう。砂嵐の火星で見る夕焼けは?灼熱の金星に吹き荒れる強風とは?タイタンの風景に見られる海や川の正体は?太陽系外の惑星はどんな姿をしているのか?……そして地球はどんな星なのか?
11 「カランの法術」を読む ー裁判の本質について考えるー	近畿大学法学部 教授 稲元 格 先生	穂積陳重「法窓夜話」（1911）に収録されている「カランの法術」（現代訳）と一緒に読み、裁判の本質について考えます。受講者には前もって資料を配布します。これにはクイズがついており、出前授業の際にそれについて解説します。最終的に裁判とはそもそも何を目的にしているのかを一緒に考えます。

12	機械を賢くする仕組みの研究と賢い機械の紹介	高知工科大学工学部 システム工学群教授	竹田 史章 先生	人間の賢さを機械（コンピュータ）に移植し、融通の利く機械・都合よく働いてくれる機械を紹介します。特に、人の学習能力ならびに1、2を知って10を知る汎用能力がどのような形で機械を賢くするかを人間に学び、そのしくみを解明していきます。これらの応用例をパワーポイントとビデオで紹介いたします。さらに、顔認証並びに人が書く筆圧だけで個人を見極めるデモを講義で披露します。
13	イタリア的な私	京都産業大学外国語学部 イタリア語専修助教	マヴィリオ アレッサンドロ 先生	この講座は前半と後半の2つのモジュールがあります。前半は、簡単なイタリア語で買い物ができるようになる授業を行います。後半は、イタリアとイタリア文化の紹介、4年間の大学での学び方、自分と違う文化と言語を学ぶ必要性などについてお話しします。
14	生命科学部での学び	立命館大学生命科学部 生命医科学科教授	里見 潤 先生	本講義では、開設後3年目を迎えている立命館大学の生命科学部での学びの特徴について、学部を構成している3つの学科、およびカリキュラムの内容を紹介しながら話します。また、講師自身の研究内容を紹介するとともに、担当している講義「人体の構造と機能」の一部を模擬講義というかたちで生徒さんに実際に体験してもらいます。
15	聴覚障害児教育について ～聞こえないって、どんなこと～	大阪教育大学教育学部 特別支援教育教員養成課程准教授	井坂 行男 先生	聴覚に障害を有すると、聞こえにくい・聞こえないという状況になる。そこで、聴覚に障害を有する方々の聞こえないことについての理解を深めることを通して、障害を有する人々のことを理解していきたい。特に、学習内容として、聴覚障害の概要やシミュレーションによる聞こえにくさの疑似体験なども行う。
16	分子を見分ける分子をつくる	鳥取大学入学センター 工学博士准教授	森川 修 先生	これまで世界で作られたことのない新しい分子をつくることは、人々の暮らしを豊かにします。例えば、医薬品など人間の健康に役立ったり、プラスチックなどの新素材は従来の物質とは違って、軽くて丈夫なものに利用されています。さらに、分子自身に新しい機能を持たせることで、分子を使って別の分子を見分けたり、その量を測定することができます。ここでは、【分子を見分ける分子】の最先端の研究についてお話しします。
17	生物の共通性と多様性	岡山理科大学理学部 動物学科教授	浅田 伸彦 先生	ヒトを含む動物を対象にした講義と実習。講義では遺伝や分子生物学など、実習では昆虫や淡水魚に関心があるというが、受講条件ではありません。
18	社会学って、どんな学問？	龍谷大学社会学部 社会学科教授	田中 滋 先生	社会学は、法学や経済学と並んで、大学の学部名称ともなっている学問です。しかし、高校の社会科の主要科目（歴史、地理、政治・経済）のなかには含まれていません。社会学とはいったいどんな学問なのか？単純化していえば、社会学は、「人と人との相互作用とその結果生まれる社会関係」について研究する学問です。今回の講義では、社会学がどんな学問なのかを、高校生の皆さんに理解できるようにお話ししたいと思います。
19	経済実験から市場経済の仕組みを体感しよう	大阪大学社会経済研究所 准教授	佐々木 勝 先生	税金引き上げや価格規制は、市場取引にどのような影響を与えるのでしょうか。これらの政策は我々の生活を豊かにするのか。今回の講義では、市場取引によって価格が決定するメカニズムを簡単な経済実験を体感することによって理解することが目的である。科学の世界では実験によって様々な理論の正当性が実証されてきた。しかし、経済学などの社会科学の分野では、対象者が「人間」であることから実験を通じて理論の検証を行うことが難しかった。ところが、経済実験は手法が確立されるにつれて経済事象を説明する有効なツールとして認められ始めた。受講者には、実験の「被験者」として参加していただき、市場取引を体験していただく。
20	フランス語授業体験	京都外国語大学外国語学部 フランス語学科講師	石丸 久美子 先生	大学での初回フランス語授業を少し体験していただけます。フランス語の音、簡単な表現に触れてみましょう。日本語になったフランス語を見てみましょう。
21	「不思議」と「マジック」をつなぐもの ～「ちょっとユニークな」社会学者 E. ゴッフマンが考えたこと～	大阪府立大学人間社会学部 人間科学科講師	工藤 宏司 先生	アーヴィング・ゴッフマンという社会学者がいます。彼は、わたしたちが日常生活を送る中で、「他者」とどのようにやりとりをするのか、に常に関心を持って、人々の具体的なコミュニケーションの場をいつも観察していました。たとえばゴッフマンは、エレベーターに乗った人が必ず上を見上げて、エレベーターが今何階にあるかを示す表示板を見ているのはなぜか、に疑問を持ちました。その結果、彼らは「今何階にいるのか？」に関心をもっているからではなく、もっと別の理由がある、と考えました。そこには、個人的な関心や思いとして説明するには無理があるもっと別の次元の理由、つまり「社会的な理由」があると考えたのです。わたしの講義ではゴッフマンが考えたこの「社会的な理由」に焦点をあてます。彼によれば、わたしたちが社会の中でさまざまに振舞うことのほとんどすべてには上記のような「社会的な理由」があります。言い方を変えれば、わたしたちが他者と一緒にいる場にはわたしたちの個人的な思いから独立している規範（決まりごと）があるのです。今回の講義では、この「規範」の存在をわたしたちに教えてくれるものとしてゴッフマンが思いついた「フレイム」という考え方についてお話ししたいと思います。具体的に考える素材は「マジック（手品）」についてです。わたしたちは「マジック」を一つのエンターテインメントとして楽しみますが、ゴッフマンによれば、これも一つの「社会的なお約束」の中で成立していることになります。それはいったいどういうことなのかを、考えてみましょう。
22	感性を科学する ～愛されキャラの謎を解く～	同志社大学文化情報学部 准教授	阪田 真己子 先生	世間は折からのキャラブーム。特に平成遷都1300年を記念してデザインされた「せんとかん」「まんとかん」騒動は記憶に新しく、「かわいい」「気持ち悪い」「癒される」などと世間をにぎわせました。このようにキャラクタの評価を行う私たちの“感性”を科学的に解明する「感性科学」をご紹介します。

23	翼の秘密を知ろう	崇城大学工学部 宇宙航空システム工学学科教授	金澤 康次 先生	飛行機はなぜ空を飛べるのか、そこではどんなメカニズムがあるかを、翼に的を絞り、身近な材料と器具を使った数種の実験で学びます。飛行の歴史や原理を交えながら、最後には単純なグライダーを作りますが、果たして飛行に成功するか否か。飛行の楽しさや不思議さ、ものづくりの面白さが体験できるとと思います。
24	指揮法入門	神戸女学院大学音楽学部 音楽学科教授	中村 健 先生	音を出さない演奏家・指揮者の役割、指揮法（手の動かし方）の原理（考え方）強弱と手の動かし方との関係を簡単な曲の一部をつかって実践。
25	「ファッションって何？」	神戸芸術工科大学デザイン学部 ファッションデザイン学科主任教授	野口 正孝 先生	ファッションは時代とともに変化し、時代の美意識を表します。一方ファッションは、自分が誰なのかを表すメディアとして自己表現の1つにもなっています。「ファッションって何？」をテーマに、ジーンズとTシャツを例に挙げて、「ファッション」を解説します。
26	“光と高分子で・・・” －光機能性高分子の科学－	京都工芸繊維大学工芸科学部 高分子機能工学課程准教授	坂井 亙 先生	みなさんは普段、様々な衣類やプラスチック製品を毎日使用していると思いますが、これらは全て、分子量が非常に大きくて糸のように細長い“高分子”からできています。これまで高分子材料のほとんどは、主に物を形づくるために使用されてきました。しかし最近では、より能動的な働きである“機能性”を持つ高分子が、盛んに利用されるようになってきています。今回はなかでも、特に光のエネルギーを利用する“光機能性高分子”について、最先端の研究内容も交えてご説明し、“光と高分子で”どのようなことができるかをご紹介しますと思います。
27	光合成の不思議を知る	広島大学理学部 生物科学科准教授	古本 強 先生	植物の光合成は、全ての生物の生息を可能とするもっとも基本的な能力である。近年の分子生物学や結晶構造学の進展から、光合成のメカニズムが分子のレベルで、しかも可視的に表現できるようになってきた。本講座では、光合成という多段階の反応のなかでも光エネルギーを化学エネルギーに変換する機構と、その化学エネルギーを用いて二酸化炭素を固定する酵素についての二つに着目し、分子のレベルで起こっていることを解説しようと思う。最後に、これからの植物の進化の方向について議論したい。
28	リハビリテーション ～作業療法の視点～	神戸学院大学総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科作業療法学専攻助教	大瀧 誠 先生	「リハビリテーション」という言葉はよく耳にするとと思いますが、「作業療法」って？と思われる人は沢山いらっしゃると思います。しかし、作業療法は、リハビリテーションに欠くことができず、また他職種との連携により患者さんの生活をより豊かにする専門職です。今回は、リハビリテーションという枠組みと作業療法の視点で患者さんを捉えながら、“より豊かに生活する”とは？ということをご皆さんと一緒に考えたいと思っております。
29	気管支喘息って？	近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科准教授	富田 桂公 先生	自然科学において、「医学」の位置づけについて先ずお話しします。その後、医者が何を考え、どうやって診断しているのかのお話を「気管支喘息（きかんしぜんそく）」という病気を元にして解説します。
30	コンビニの仕組み	関西大学総合情報学部 教授	古賀 広志 先生	コンビニエンスストアは、今では、私たちの生活に欠かせない存在となりました。狭い店舗面積にもかかわらず、一日の販売金額は平均で60万円とも言われています。そのような好業績は、買い手には見えにくい「情報システム」によって支えられています。そこで、この講義では、コンビニエンスストアを支える情報システムの役割について説明します。特に、レジの仕組み、商品バーコードの仕組みなどを説明していきます。
31	ARTとしての建築学	武庫川女子大学生活環境学部 建築学科准教授	柳沢 和彦 先生	まずは誰でもできる簡単な建築造形的一端を体験してもらいます。そしてその体験をふまえて、建築すなわちarchitectureの語源や、建築の三大要素である「強・用・美」の意味などを理解し、建築設計は科学でもあり芸術でもある総合的な人間の営みであることを概観します。
32	商学部での学びと会計学の魅力	関西学院大学商学部 教授	林 隆敏 先生	・関西学院大学の紹介 ・商学部のカリキュラムの紹介 ・会計学入門